

がん「チーム医療」解説 徳大が市民公開講座

徳島大学における最新の
がん治療の取り組みを紹介
する市民公開講座(中国・
四国広域がんプロ養成コン
ソーシアムなど主催、徳島
新聞社など共催)が20日、
同大蔵本キャンパスの長井
記念ホールで開かれ、約2
30人が耳を傾けた。

大学病院食道・乳腺甲状
腺外科の井上聖也講師は、
医師を軸に薬剤師や歯科衛
生士、作業療法士など幅広



がんのチーム医療について講
演する井上講師。徳島大蔵本
キャンパスの長井記念ホール

い分野の医療専門職が1人
のがん患者のケアに当たる
「チーム医療」について
解説。2013年ごろから
本格的に取り組み始めた大
学病院では「化学療法に伴
う副作用の軽減や入院期間
の短縮など、有意な効果が
あった」と話した。

薬剤部のがん専門薬剤師
の柴田高洋さんは、薬物療
法の一つで免疫を活性化し
てがん細胞を攻撃するオプ
ジーボなどの「免疫チェッ
クポイント阻害薬」を紹介
し、副作用などを説明。投
与から2、3カ月で副作用
が現れる事例が多いこと
や、副作用が出ても再投与
できる薬があることを紹介
した。

緩和ケア認定看護師ら4
人も講演。事前アンケート
による質疑応答があり、が

んの早期発見のために1年
に1度は検診を受けること
を勧めた。(平尾貴宏)